

令和7年度 長岡小学校評価アンケートまとめ

アンケート結果【児童】



◎ よく あてはまる ○ すこし あてはまる
△ あまり あてはまらない ▲ まったく あてはまらない

R7.12月実施
回答率 95%

	質問内容	◎	○	△	▲	達成率
1	学校(がっこう)が楽(たの)しいですか。	48.1%	42.1%	8.2%	1.6%	90.3%
2	あいての気持ち(きもち)を考(かん)がえて生活(せい)かつしていますか。	47.8%	46.9%	4.4%	0.9%	94.7%
3	めあてをきめて取(と)り組(く)んでいますか。	47.2%	44.0%	7.5%	0.9%	91.2%
4	学習(がくしゅう)にしっかり取(と)り組(く)んでいますか。	65.1%	30.2%	3.5%	0.9%	95.3%
5	こまったときは、だれかにそうだんできますか。	46.5%	36.5%	12.6%	4.4%	83.0%

5つの項目に対して、「できている」・「がんばっている」と自己評価している児童が多いことが分かった。自己肯定感が高く、意欲をもって物事に取り組むことができているようである。以下に、項目別に考察していく。

【設問1】約90%の児童が学校が楽しいと肯定的な評価であった。学習や生活の充実や学級や縦割り班での人間関係づくりが効果的に現れた結果であると思われる。約10%の楽しく感じられていない児童(約30名)がいることを念頭に置きながら、一人一人が学校での生活がより充実したものになるように、日頃から児童との関係づくり(サポートや話しかけ)に気配りが必要であると思われる。

【設問2】学校の『子供たちにつけたい力』として、「自分と相手の違いに目を向け、互いを大切にできる力」の育成を目指し取り組んできた。加えて、児童会目標も「いこちのよい、楽しい学校」である。学校で生活することは自分だけでなく相手がい、お互いが居心地がよい時間にするために相手のことを考えた言動をとることが大切である。これまでの学びやSSTの取り組み、一人一人の気づきが結果として表れたと考える。

【設問3】めあてをもって活動することで、自分の成長を感じたり課題が見えてきたりするなど、次への目標が明確になることが期待できる。多くの児童は、自分でめあてを決めたり、教師と一緒に設定しためあてに取り組んだりして、日常的にめあてに向かって努力することが習慣化できていると捉えている。各教科の授業でも、めあて(課題)を明確にして進めていることも高い数値の表れにつながったと考えられる。

【設問4】5つの項目の中で、最も高い評価となった。学習に向かう気持ちや意識が高く、約95%の児童が肯定的評価であった。勉強が分かる・分からないだけでなく、自分なりに取り組んでいるという認識があることを価値つけていきたい。これからも、何事にも一生懸命取り組むことを大切にできるクラスの雰囲気づくりが成されるよう、担任の学級経営研修を続けていく。

【設問5】今年度の始め、「困ったことがあったら、担任だけでなく話しやすい人に話していいよ。」という学校のスタンスを子供たちに伝えた。困ったときに、SOSを出せる力はこれからますます必要になってくると考えられる。肯定的評価は約83%という結果であり、約20%の児童については、これからもSOSの出し方を伝えていく必要がある。一人で悩まず、まず相談するためのコミュニケーション力を高めていくような手立てをとっていく。